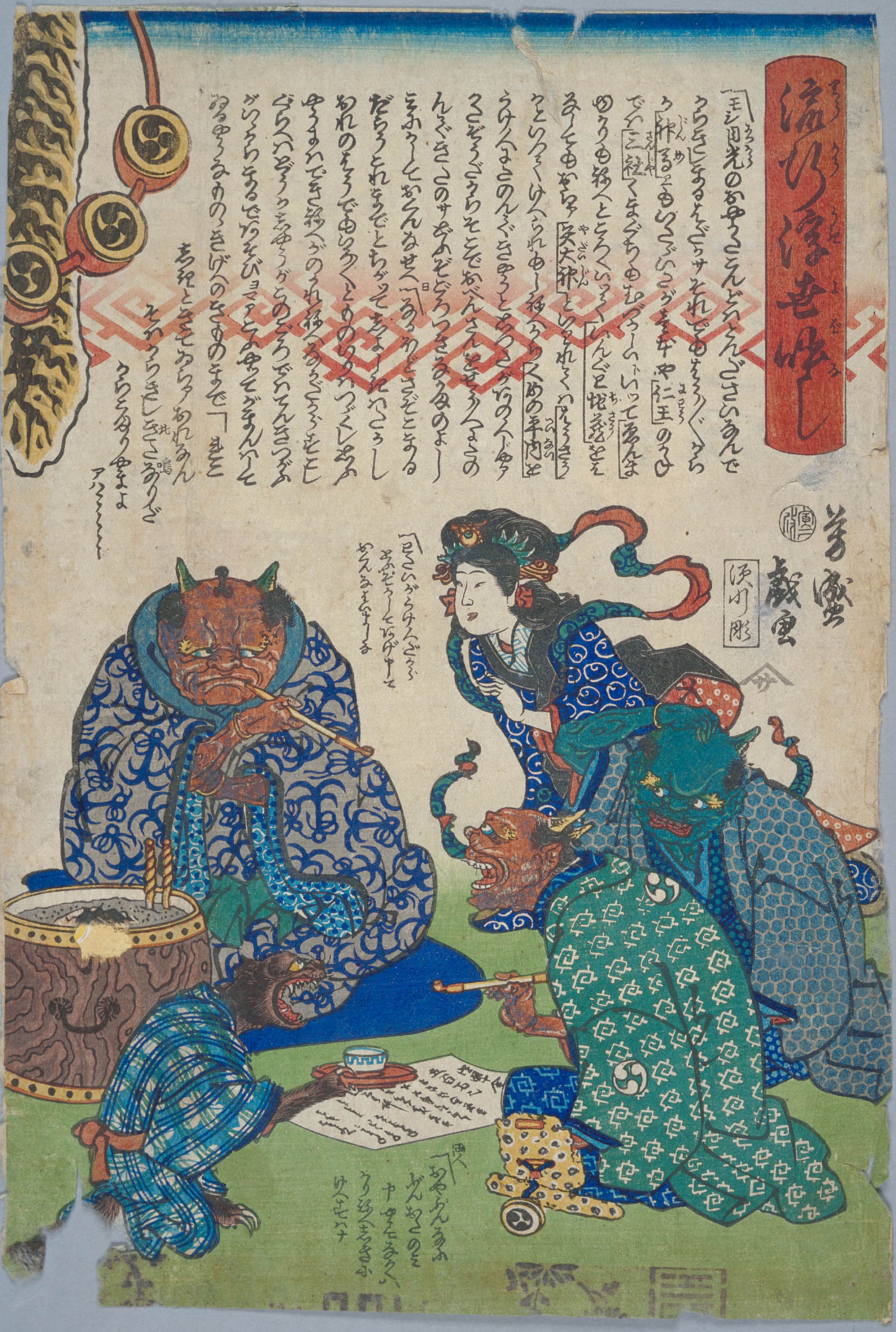
# 流行浮世咄し



「モシ日光のお中さまこんどえんとんでござへますんで ちらもこになるんでごうサそれでもまろくしやら う神楽でもひくぶいさげ弁才や仁王のうち でも三社くまぐちでもむづかしいといつて帝釈さま 田うりも稲人とこくいつてびんぐら地蔵さま みんなでもおやま疫大神といはれるくわんきやう やとりまくけんぺいられもしり稲べられく人めの手内を うけんなさのんぐさゆうとおうさずのんべえ さぞさぐうらそこでおべんさんをせうしてうまいの んぐさこのサおめぞどろつさまのよし こふいしておかんなせへ「日あるいとさぞさとなる だらうとれまでともいつそまよしれへこうし おれのそうでもいうくとのいつづくしまう ゆうまれでさ稲べがのうれも稲べらさぐうるさそもと ぐらくへなくぎうあ弁ういらのどうでんてんさつぶ がいうらするでかそびヨマアとおそぞざんかて あるゆうみのきげんのそうのまそぞ「まこと まぬとさてみうしあれまん そかからきし北鳴さぞさらりぐ うらとみうのまよ アハゝゝゝゝ

「目くいがらけんぐうくさふぞうしてなげや かんみまなまする

「西へ あやうんあふ げんむさのそ 中やまみなく うらうへきまふ けへさせハナ

芳艶戯画

沢川彫

流行浮世咄し　チ5-3991
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library